



第424号

2022年 6月

〒461-0004  
 名古屋市東区葵2丁目6-35  
 カトリック名古屋教区広報部  
 電話 (052) 935-2223  
 FAX (052) 935-2254  
 news@nagoya-diocese.jp  
 印刷所 株式会社 荒川印刷  
 毎月第1日曜日発行

**名古屋教区設立100周年 教区聖年**  
 (2022.2.13~2023.5.28)  
 神からの賜物(A GIFT)を感謝し  
 新しい時代へ

**愛のよろこびの家族年**  
 2021年3月19日  
 2022年6月26日

教区ホームページ

福音のひびき

6月の説教者	
5日	聖霊降臨の主日 ソソボン・カロール・ヨハネス (岐阜教会)
12日	三位一体の主日 暮林 響 (神言修道会)
19日	キリストの聖体 ノヴァク・ボグスワフ・ジグムント (安城教会)
26日	年間第13主日 小川 満 (北陸ブロック富山地区)

# 名古屋教区設立100周年 教区聖年開始ミサと講演会

カトリック名古屋教区(名古屋使徒座知牧区)が設立されて、今年(2022年)で100周年を迎える。4月24日に教区聖年開始ミサが、名古屋カテドラル布池教会で行われた。この一年間は「教区聖年」と定めて、3人の講師に講演会、巡礼などが予定されており、来年度の聖霊降臨祭主日までの聖霊降臨祭主日まで

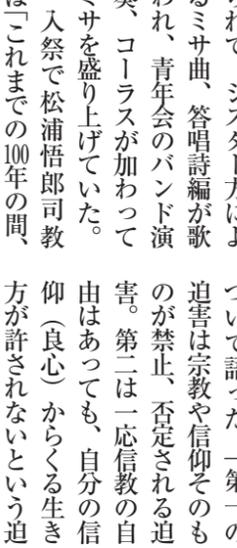
が続く。開始ミサの前に、講師の大瀬高司神父(カルメル会)による「世界の中の名古屋教区100年」のテーマで講演会が行われた。(講演会の記事は2面に掲載)

あつたがそれでも名古屋教区各地からの司祭、修道者、各ブロック信徒代表などで聖堂を埋め尽くして久しぶりに一体となった教区の集まりとなった。なお会衆全体で聖歌をうたうことは控えられて、シスター方によるミサ曲、答唱詩編が歌われ、青年会のバンド演奏、コーラスが加わってミサを盛り上げていた。

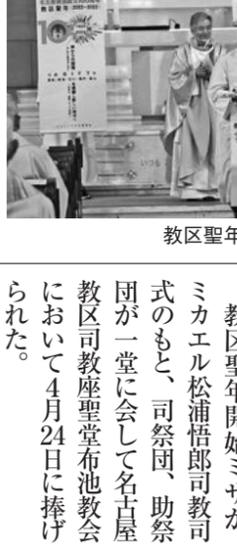
入祭で松浦悟郎司教は「これまでの100年の間、先人たちの苦勞によって信仰、福音が受け継がれてきたことをまず神に感謝し、これからの時代に向けて力強く福音宣教していきけるよう祈りましょう」と挨拶した。説教では「厳密に言えば知牧区から数えて100年であるが、知牧区とは教区に準ずるものとして認められており、すでにこの時から今の5県で始まっていた。もう有名になった5つの県の頭文字を取ったA GIFT。神から送られたこの5県を神の恵みを表す教区でありたい」と思い、A GIFTの100年間として祝いたい」と説明した。続けて司教は、教会の歴史の中で常に起こってきた三つの迫害について語った。「第一の迫害は宗教や信仰そのものが禁止、否定される迫害。第二は一応信仰の自由はあっても、自分の信仰(良心)からくる生き方が許されないという迫害。そして第三は外的な迫害はなくても、なぜか自分の内面から信仰が壊れていく、信仰の喜び、熱意を失っていくという自らの生き方が招く迫害。このように考えると迫害は過去のことではなく今の問題でもあることを心に留めて信仰の歩みをきましまし、また、分裂の一端をたどるような世界にあって、どんな平和を願う、生きるのでしょうか。どんな世の中になろうと変わらないイエスに從って特にこの一年間、祈りながら、巡礼しながら、分ち合いながら、皆さんと歩んで行きたい。奉納の行列ではホスチアと一緒に、象徴的に小教区と名古屋教区の記念誌が捧げられた。



教区聖年ミサでA GIFTに感謝して挨拶する松浦悟郎司教



宣教司牧指針「司教教書」について話す松浦司教



教区聖年タペストリーを受け取る神父とシスター

「A GIFT」にした。A GIFTは、愛知、岐阜、石川、福井、富山の5県のアルファベットの頭文字から取った。A GIFTとした。

## 教区聖年(2022~2023) 神からの賜物(A GIFT)を感謝し新しい時代へ共に歩む教会のために

### 交わり、参加、そして宣教

教区聖年開始ミサが、ミカエル松浦悟郎司教司式のもと、司祭団、助祭団が一堂に会して名古屋教区司教座聖堂布池教会において4月24日に捧げられた。

教区聖年について松浦司教の意向を紹介しよう。

**\* A GIFT JAPAN**  
 この名称は、松浦司教様が名古屋教区司教に決まった時に、当時のローマ教皇庁駐日大使のジョセフ・チェノットゥ教皇大使(2011年から駐日教皇大使を務め、在任中の2020年に死去)が、ユーモアをこめて「教皇はあなたに贈り物(A GIFT)を与えた」と言われたことから、名古屋教区の愛称になった。

**A GIFT JAPAN**  
 I 石川、F 福井、T 富山の5県のアルファベットの頭文字から取った。「A GIFT」とした。

教区聖年開始ミサが、ミカエル松浦悟郎司教司式のもと、司祭団、助祭団が一堂に会して名古屋教区司教座聖堂布池教会において4月24日に捧げられた。

教区聖年について松浦司教の意向を紹介しよう。

**\* A GIFT JAPAN**  
 この名称は、松浦司教様が名古屋教区司教に決まった時に、当時のローマ教皇庁駐日大使のジョセフ・チェノットゥ教皇大使(2011年から駐日教皇大使を務め、在任中の2020年に死去)が、ユーモアをこめて「教皇はあなたに贈り物(A GIFT)を与えた」と言われたことから、名古屋教区の愛称になった。

教区聖年開始ミサが、ミカエル松浦悟郎司教司式のもと、司祭団、助祭団が一堂に会して名古屋教区司教座聖堂布池教会において4月24日に捧げられた。

古屋地区と北陸地区で行う予定。開催日時や場所、3人の担当者が決める。開催日時が決まり次第、名古屋教区ニュースなどでお知らせする。

**\* 祈り**  
 100周年の祈りは5月号に発表済み。

**\* 歴史区分の巡礼について**  
 殉教者顕彰委員会が決定している。既に美濃・尾張キリシタン巡礼マップ(二宮・犬山、可児市塩笠松と名古屋の栄国寺の殉教地)が出来ている。小教区に配布済み。

**\* 巡礼地は、各ブロックが、その地域にある小教区、又は修道会などから一か所を決める。次回6月の司教司牧評議会・委員会の時に発表する。その時に、推薦理由も出すことになる。**

**\* 北陸ブロック(福井、富山、石川)は、3県がそれぞれ提案するかもしれない。**

**\* 巡礼地は、各ブロックで最低一つを決めるが、その他に推薦する場所があれば、オプションとして複数選んでもよい。**

**\* 教区は決められた巡礼教会に「スタンプ」を作っ提供する予定。**

**\* 巡礼地を決める際には、巡礼者が訪れることを想定して、併設する幼稚園との関係(迷惑にならないように)や聖堂が**

**常に関わっているかなどを考慮して選んでほしい。**

**\* 巡礼のための「スタンプ帳」があると良い。**

**\* 記念誌**  
 作成する予定で、準備作業を進めている。いつ、発行となるか現在ではわからない。

**\* 「司教教書」の小冊子**  
 2015年6月13日に、名古屋教区司教座聖堂布池教会で、松浦司教の着座式が行われた。2016年に松浦司教の着座後に出した2016年司教教書「教会の扉を開こう」御父のいつくしみに支えられて」を名古屋教区の司教司牧方針として継続していくので、小冊子にて配布済み。

**\* 外国籍の方のために**  
 本企画書を翻訳

**\* 日本に在住する外国籍の人にも「教区聖年」を理解できるように、各国の言葉に翻訳する。担当は、平田政信神父。**

**\* この国の言語を載せるのか? 案としてはポルトガル語、スペイン語、英語、ベトナム語、韓国語、の5か国語。**

**\* 各国語の案内は、名古屋教区HPに掲載する。**

**\* 各国語の翻訳した案内は、名古屋教区ニュースにも掲載する。**

**2022年3月20日現在掲載しています。決まっていな事項は決まり次第報告します。**

に支えられて」を掲

示しながら、「この冊子を身近において、この指針に從って名古屋教区のために一緒に歩んでほしい」

「A GIFT」として

に支えられて」を掲

示しながら、「この冊子を身近において、この指針に從って名古屋教区のために一緒に歩んでほしい」

「A GIFT」として

# 大瀬高司神父の講演 「世界の中の名古屋教区100年」

カトリック教会は、宗 度400年になる。さて第二バチカン公会議以後、大きく変わったことにミッシェンの解釈がある。言葉も布教から宣教に変わり、他宗教は邪教と見下すような以前の姿勢が大きく変わった。このような背景の時期が長かったため、日本にキリスト教が広まらなかった原因があるのでは、とも言われる。

また今のウクライナ・ロシアの戦争、政治と宗教の問題にも触れた。中国三自愛国教会や戦時中のロシア正教などの政府公認の教会とバチカンの問題、中世には宣教(布教)に必要な資金確保のために帝国主義、植民地主義、奴隷売買までも容認してきたことを認めなければならぬ。一方で宣教(布教)の純粋性を保たなければならないと布教聖省が出来今年で丁



地上を旅する名古屋教区と講話する大瀬高司神父

宣教の源泉はイエス・キリストであり、それ以外はあり得ない。また誰かがやってくれるのではなく、主体的な誰かによってここまで続いてきた名古屋教区、これからは「地上を旅する名古屋教区」として、戦争などで苦しむ人の多い中、心を一つにして祈る教会でありたい。

なお講演で大瀬高司神父は、日本とバチカンの外交の歴史を研究するため、数年間にわたりバチカンに保管されている膨大な資料を調べたことから、歴史を調べることは今を考へることにつながることを指摘。熱意溢れる講話の中から、紙面のURL <https://youtu.be/49Ku0ggSP0Y>

## 日本カトリック司教協議会 会長談話 ともに耳を傾け、ともに歩もう

2022年ラウダート・シ週間にあたって  
2022年5月22日(29日)

教皇フランシスコは、2015年5月に回勅「ラウダート・シ」ともに暮らす家を大切に」を公表され、全世界に向けて、「わたしたち皆がともに暮らす家」を大切に守るといふ視点から、エコロジの様々な課題に総合的に取り組むことを呼びかけられました。すべての被造物は互いにすべてつながっているがために、互いの調和のうちに生きていく道を探ることに重要性を教皇様は強調され、教会全体としてこの課題に取り組むよう求めています。

日本の司教団は、2019年11月の教皇訪日を境に、教皇フランシスコが日本から世界に向けて発信されたさまざまなメッセージを具体的に生きていくために、訪日のテーマである「すべてのいのちを守るため」を深く、黙想し、祈り、行動するために、特別な期間を設けることにしました。そこで毎年9月1日(10月4日)を、「すべてのいのちを守るための

シ週間」は5月22日から29日までとされ、そのテーマが、「ともに耳を傾け、ともに歩もう」とされています。「ともに」という呼びかけは、わたしたちが今シノドスの道程とともに歩んでいるからに他なりません。教皇フランシスコは回勅に、「皆がともに暮らす家を保護するという切迫した課題は、人類家族全体を一つにし、持続可能な総合的な発展を追求するという関心を含んでいます」(13項)と記されています。残念ながら、この数ヶ月、わたしたちはこの共通の家を争いの場としてしまいました。人類家族全体の一致は実現せず、共通の家に対する配慮は後回しにされています。

同時に司教団は、環境問題へさらに真摯に取り組むため、取り組みの方向性と理解を包括的に示す文書を作成し、現在、書籍として出版する準備を進め、その具体的な活動についても検討を続けています。世界の教会に目を向けると、2015年の回勅発表直後に、それまで環境問題に取り組んできたネットワークが発展して、「ラウダート・シ運動」が結成されました。同運動は、教皇庁人間開発のための部署と協働し、毎年、回勅の発表された5月24日前後の一週間を、「ラウダート・シ週間」として、全世界の教会に啓発活動への取り組みを呼びかけています。今年の「ラウダート・シ週間」は5月22日から29日までとされ、そのテーマが、「ともに耳を傾け、ともに歩もう」とされています。「ともに」という呼びかけは、わたしたちが今シノドスの道程とともに歩んでいるからに他なりません。

地球の叫びへの応答  
気候危機、生物多様性の消失、エコロジカルな持続可能性のいづれにも対処しつつ、すべての人が人間らしく生きるためにわたしたちがともに暮らす家を守るよう呼びかけます。

## ラウダート・シ目標 (暫定訳)

地球の叫びへの応答  
気候危機、生物多様性の消失、エコロジカルな持続可能性のいづれにも対処しつつ、すべての人が人間らしく生きるためにわたしたちがともに暮らす家を守るよう呼びかけます。

教区の皆さま  
教区司教 松浦悟郎  
異動 その他お知らせ  
+ 主の復活 おめでとう  
+ 冠の復活  
+ コロナ禍とはいえ、復活祭と共に新しい年度も始まり、喜びのうちに宣教司牧に励んでおられることと思います。今日は、異動などのお知らせをします。

1. 名東教会で司牧を担当して下さっていた野村純一司教様は高齢ということもあり、小教区担当を外れ司教館に居を移すことになりました。野村司教様には司教引退後も6年間にわたって小教区を担当して下さいました。心からお疲れさまでしたと申し上げたいと思います。また、名東教会の信徒の皆さま方には、の信徒の皆さま方には、いろいろな面で司教様を支えて下さったことを心から感謝します。

## 2022年度名古屋教区 女子修道会・在俗会連盟総会を開催

名古屋教区女子修道会・在俗会連盟の総会が4月23日に、教区センター大会議室で開かれました。総会を始める前に、昨年帰天されたシスター渡邊かを(前会長)の御安息を願う黙祷をささげました。

さて今回総会の参加者は6修道会から12人が出席した。シスター速水智恵美会長(聖霊奉侍布教修道女会)の挨拶に続き、2021年度の活動報告、会計報告、2022年度の活動計画、予算案の決議事項の検討がなされた。



総会で議題検討をする各修道会のシスターの皆さん

司教協議会  
会長 菊地功

新刊書紹介

「社会の中で虐げられている人たちから学んだ — タグレ枢機卿の人生、そして希望」



教皇フランシスコが選出された2013年のコンクラーベ(教皇選挙)によって、世界中にその名が知られるようになったタグレ枢機卿。彼の話は、なぜ人の心を打つのか。彼は、車も持たず、人に会うためにバスで外出し、華美な服装を求めず、ごく普通の平服を好む。本書は、教皇フランシスコのスタイルに最も近い枢機卿と言われ、現ローマ教皇庁福音宣教省長官を務めるルイス・アントニオ・ゴキム・タグレ枢機卿になされたインタビュー記事である。

サンパウロ 1,980円(税込)



浦上キリシタンを偲ぶミサで祈りを捧げる司教と石川地区の司祭団

大分教区新司教 森山信三師の叙階式日程
大分教区新司教の森山信三師(福岡教区司祭)の司教叙階式の日程が発表されましたので、お知らせします。

叙階式日程
日時 7月3日(日) 14:00
場所 J:COM ホルトホール大分
〒870-0839 大分県大分市金池南 一丁目5番1号
TEL 097-576-7555
FAX 097-573-6210
https://goo.gl/maps/P7uQF2jiUhd5W3A
スルピス 森山信三被選司教の略歴
1959年1月17日福岡市生まれ、88年3月司祭叙階(福岡教区)、福岡教区内の小教区主任司祭、幼稚園園長を歴任。2020年4月カトリック中央協議会出向、21年4月カトリック中央協議会事務局長。22年4月5日大分教区司教に任命される。

聖ペトロ使徒座への献金 (6月26日)
教皇は毎年、世界各地を訪れ、人々の苦しみや悩みを聞き、優しい笑顔で力づけ、数々の援助を与えます。キリストの代理人、教会の最高牧者である教皇は、祈りと具体的な援助を通して全世界の人々にいつも寄り添っているのです。この教皇に心を合わせて、わたしたちも世界中の苦し

浦上キリシタンを偲ぶミサ

金沢教会

明治初年、長崎から金沢に流された浦上キリシタン約500人を偲ぶミサが4月29日、カトリック金沢教会で行われた。雨が降ったため、予定していた卯辰山での野外ミサは教会聖堂のミサに変更された。ミサは名古屋教区の松浦司教と石川地区のチーラム司祭、協力司祭、計6人の共同司式で進められた。金沢教会信徒のほか、名古屋教区信徒使徒職評議会のメンバーが参列し、共に祈りをささげた。長崎四番崩れと呼ばれた

た浦上キリシタンは、町中心部に近い卯辰山で4年間収容生活を送った。松浦司教は説教で、雪国に流され過酷な日々を送った浦上キリシタンの歴史を振り返り、この金沢の地で、あるいは富山の地で、多くのキリシタンが苦しみのうちに信仰に生きてきた。そのことを思いながら、彼等の信仰から力をいただき、小さな行動、パンをささげていこうと説いた。この日のミサに先駆け、4月16日、浦上キリシタンの記念碑が建つ卯辰山の広場と周辺の遊歩道で、金沢教会の信徒有志が清掃活動を行い、冬の間溜まった枯れ葉や枯れ枝などを取り除いた。記念碑広場は1968年、金沢教会の創立80周年を記念して整備された。浦上キリシタンが収容された湯屋と呼ばれた旧共同浴場の跡地から近い山腹にある。整備当時に植えられた樹木は50年を経ても大きく生長し、ミサが行われる4月下旬には、毎年、広場全体を覆う新緑のドームを形成している。

2022年度正平委学習会の年間テーマ 「やられた方から歴史を見る」 — 誰一人置き去りにしない —
(趣旨) 「やられた方から歴史を見る」ということは、イエスに従う私たちの現実に対する姿勢につながります。社会も、組織も、誰一人残さないことを軸とする包摂的ないのちのつ

安保法制、敵基地先制攻撃の違憲 — 講師 猪瀬俊雄さん(正平委委員、元裁判官)
④ 10月14日(金) 10:30 福信館
⑤ 11月11日(金) 10:30 福信館
⑥ 2023年1月21日(土) 10:30 福信館
⑦ 7月8日(金) 10:30 福信館
⑧ 8月12日(金) 10:30 福信館
⑨ 10月30日(日) 10:30 福信館
⑩ 11月11日(金) 10:30 福信館
⑪ 12月11日(日) 10:30 福信館

カトリック看護協会(JCNA)主催 松浦司教様との集い
『兄弟姉妹に寄り添う』(イエスのまなざし)のころでケアする医療、看護、介護における体験や悩みを松浦司教様と分かち合います。
日時 7月2日(土) 13:30~15:30
参加方法 リモート(ZOOMでの開催)
参加費 無料
対象 カトリック医療従事者、カトリックの精神を重んじた医療・看護・介護に関心のある方
申込み・問合せ JCNA名古屋支部 E-mail: jonanagoya@gmail.com
または、社会福祉法人聖霊会 カトリック社会事業室 村木 電話:052-1832-1181(内線 7354)
締切り 6月29日(水)
主催 日本カトリック看護協会名古屋支部
申し込みされたメールアドレスに、ZOOMの招待状をお送りいたします。

ウクライナ危機人道支援 緊急募金受付継続中
カリタスジャパンの担当である成井大介司教様より、今回のロシアによるウクライナへの大規模軍事侵襲による、緊急募金の呼びかけがありました。ウクライナにおいてカリタスは2014年のロシアのウクライナへの攻撃以降、緩衝地帯に暮らす人々への緊急支援を続けてきましたが、今回もいち早くウクライナ全土で長期・短期避難所の提供や、移動希望者の送迎、精神的ケア、離れ離れになってしまった家族の再統合、国境付近で待機する難民への食糧支援などを行っています。また、周辺国のカリタスと協働し、ヨーロッパからの食糧や衣料品の調達を開始しています。カリタスジャパンは、ウクライナの状況と、ウクライナにおけるカリタスの活動を考慮し、「ウクライナ危機人道支援」緊急募金の受付を決定しました。お寄せいただいた募金は、ウクライナとその周辺国で行われる人道支援活動のために活用させていただきます。名古屋教区内の各小教区におかれましても、ぜひ皆さまに呼びかけをよろしく願いいたします。
郵便振替番号: 00170-5-95979
加入者名: 宗教法人カトリック中央協議会 カリタスジャパン
通信欄に「ウクライナ危機人道支援」と明記
名古屋教区カリタス福祉委員会 担当司祭 山野聖嗣

Дуже дякую Дью-Джии-Е. Джек-Джур-Игорь. Даттценко (守山教会)
多治見教会の皆様、復活祭おめでとうございます!
2月24日ロシア軍隊はウクライナに侵襲して、ウクライナで激しい戦争が始まりました。私の両親は私が生まれた町にロシアの戦車が近づいたと聞いてすぐ避難するために、父と母と姉は朝早く家を出ました。ウクライナの西部まで1000キロ以上超えて、三日間のあとたどりつきました。避難したい人が多かったので、ウクライナの国境を渡るため、手続きに17時間もかかりました。父は70歳で、母は67歳なので、大変な道でしたが、やっと3人で無事にスロバキアという安全な国につきました。
国連によると、もう400万人以上ウクライナを脱出しました。それは子供たち、女性、60歳以上の男性です。ほとんどの場合はポーランド、ドイツ、スロバキア、アメリカ合衆国、カナダなどへ避難します。
嬉しいことで、ウクライナ人は日本へも避難できます。現在までに、30人ぐらいのウクライナ人は愛知県と岐阜県に避難しました。自治体はウクライナ人が日本で安全だと心理的に快適に感じられるように可能な限りのことをしています。
私が多治見教会のミサに行くときに、信者さんから「ウクライナの家族が大丈夫かどうか」よく聞かれます。教会の中でウクライナの避難者のために募金箱もあります。それは、涙がでるほど感動いたしました。多治見教会の皆さんに心から感謝いたします。
復活祭は新しい生活が始まるという希望を与える祭です。これからも、日本人とウクライナ人の心を合わせて、ウクライナでも、世界中でも戦争がない新しい生活ができるように神様にお祈りを続けましょう。

ウクライナ人を支援しよう、支援の輪が広がる
多治見教会の広報委員 二回の堅信講座に参加するに当たっている加藤孝子さんから、ウクライナ人のイゴール・ダツツェンコさんについてメール連絡がありました。
「イゴールさんは2019年12月に正教多治見教会の皆さんの祈りが力強い支援になっていると思います。遠い国で起こったこの戦争から改宗し、守山教会へ移るまでの2年間を多治見教会信徒として祈りに捧げていました。3月から始まった月



復活祭の日にウクライナ避難民とミサに参加したイゴールさん(左)とボクダン神父(中央)

〔祭〕祭日(祝)祝日(記)記念日  
**6月の教会暦**  
 1日(水) 聖ユスチノ殉教者(記)  
 3日(金) 聖カロロ・ルワンガと同志殉教者(記)  
 5日(日) 聖霊降臨の主日(祭)  
 6日(月) 教会の母聖マリア(記)  
 11日(土) 聖バルナバ使徒(記)  
 12日(日) 三位一体の主日(祭)  
 13日(月) 聖アントニオ(パドバ)司祭教会博士(記)  
 19日(日) キリストの聖体(祭)  
 21日(火) 聖アロイジオ・ゴンザガ修道者(記)  
 23日(木) 洗礼者聖ヨハネの誕生(祭)  
 24日(金) イエスのみ心(祭)  
 25日(土) 聖母のみ心(記)  
 26日(日) 年間第13主日  
 28日(火) 聖ペトロ使徒座への献金  
 29日(水) 聖イレネオ司教殉教者(記)  
 (祭) 聖ペトロ 聖パウロ使徒

**7月の主な教会暦(主日・祭日など)**  
 3日(日) 年間第14主日  
 10日(日) 年間第15主日  
 17日(日) 年間第16主日  
 24日(日) 年間第17主日  
 31日(日) 年間第18主日  
 界祈願日

**教区行事予定** (\*松浦司教)  
 6月  
 5日(日) 布池教会堅信式\* / 宣教司牧評議会\*  
 10日(金) 正義と平和委定例会「学習会」  
 11日(土) 殉教者委定例会 / 信徒使徒

17日(日) 職大会  
 12日(日) 多治見教会堅信式\*  
 13日(月) 松浦司教着座記念日  
 14日(火) 樹の会  
 16日(木) 顧問会\* / 月集  
 18日(土) レジオ・マリエ「名古屋クリア黙想会」  
 19日(日) 愛岐B会議 / 青年委員会  
 21日(火) カトリック看護協会例会  
 23日(木) 司祭評議会\*  
 25日(土) 濃尾B会議  
 26日(日) 一粒会の集い(東海地区)\*  
 7月  
 8日(金) 正義と平和委定例会  
 9日(土) 殉教者委定例会  
 10日(日) 城東B会議 / 三河B会議  
 12日(火) 樹の会 / 難民移住移動者委員会  
 14日(木) 顧問会\* / 月集\*  
 16日(土) レジオ・マリエ「名古屋クリア」  
 17日(日) 城北B会議 / 城南B会議 / 青年委員会

**告知板**

6月の吹き出し  
 木2日(東山)、9日(布池)、16日(聖霊・南山・樹の会)、23日(城北橋)、30日(一宮) 金3日(喜望の会)、10日(南山)、17日(布池)、24日(AJU・恵方町)

7月  
 3日(日) 大分教区司教叙階式  
 7日(木) 常任司教委員会  
 19日(火) 22日(金) 司教総会

7月の主な教会暦(主日・祭日など)  
 2日(木) 常任司教委員会  
 14日(火) 15日(水) 管区司教会議



**正義と平和委員会の学習会**  
 「コロナ禍の子どもたち」

正義と平和委員会では、今年初めての学習会を1月14日に福音館で開催し、数名が参加した。コロナ禍における生活は、誰にとっても様々な困難さを強いられるが、養護施設で暮らす子どもたちは一層大変な思いをしていることは、想像に難くない。そこで今回は「クローバーライト」施設長の佐藤邦子さんを講師に迎え、世間にはあまり知られていない養護施設の子どもの現状を聞いた。佐藤さんは半田教会所属の信徒で、以前にカトリック信徒宣教師として東チモールに派遣され、帰国後はジャイカ(JICA) 独立行政法人国際協力機構)で発展途上国の援助のために働いてきた。しかし長年海外で支援活動をする一方で身近なところを見渡して、日本の特に子どもたちの置かれている環境を考えると、社会福祉士の国家資格を取り、常滑市の委託を受けて3年前から養護施設、知多学園の再建に関わっている。当時の知多学園の子どもたちの生活はかなり荒れていて、まずは環境を変えなければと思いつき、廃墟になっていた建物を改装してそこに施設を移転し、次に働く人材を十分に整えて、名称も「クローバーライト」と改めて再出発した。

**告知板**

6月の吹き出し  
 木2日(東山)、9日(布池)、16日(聖霊・南山・樹の会)、23日(城北橋)、30日(一宮) 金3日(喜望の会)、10日(南山)、17日(布池)、24日(AJU・恵方町)

7月  
 3日(日) 大分教区司教叙階式  
 7日(木) 常任司教委員会  
 19日(火) 22日(金) 司教総会

7月の主な教会暦(主日・祭日など)  
 2日(木) 常任司教委員会  
 14日(火) 15日(水) 管区司教会議

従来の養護施設は大勢で集団生活する施設型であるが、クローバーライトでは6人の子どもに対し3〜4人の職員で一つのユニットを作り、そのユニットが5つある。それぞれで家庭的養育が行える環境になっていて、脱施設化を目指している。基本的な生活習慣を身に付けたり、施設、先生といった名称を使わない、名前を呼ぶときはさん、君付けで等、家庭的な環境を整えていった。又、地域のお祭りや野球チームなどにも積極的に参加させて、施設という特殊な環境から外に出て地域の人たちと関わるようにしている。佐藤さんが大切にしている3つのこと、  
 ① 自分ことは自分で決める。  
 ② もやもやとした気持ちをはっきり言葉にして伝える。  
 ③ 「助けてほしい!」を言えるように。  
 このように心がけることで、自分のことを自分できちんと言えるようになってきた、と実際に変わってきた子どもの様子を紹介しながら話してくれた。  
 この先のこととして、子どもたちが施設を出てからもいつでも帰ってこられる場所、「お帰り!」と言ってあげられる場所を作りたいと考えている。職業訓練所やカフェも作りたいと、佐藤さんの夢は広がる。養護施設に措置される原因は圧倒的に虐待、育児放棄が多く、親の離婚、再婚による家庭の複雑さが養育の問題を多くしている。コロナ禍が抱える家庭の問題は、更にそのような子どもを増やし、施設は満杯の状態である。

**カトリック名古屋教区**  
**セクシュアル・ハラスメント**  
**対応委員会**  
**ホットライン**  
**☎ 080-2625-4681**  
 受付 月~金 (祝日除く)  
 時間 10:00~12:00  
 13:00~16:00  
 名古屋市東区葵2-6-35  
 カトリック名古屋教区センター  
 相談の秘密、プライバシーは厳守します。  
 安心してご相談下さい。

**東海地区一粒会の集いのお知らせ**  
**「講演会と司教ミサ」**  
 日時 6月26日(日)  
 受付13:30~終了16:30  
 場所 カトリック岡崎教会  
 岡崎市明大寺町向山2-3  
 電話 0564-51-1848  
 講演 窄口松雄神父  
 (石川地区共同司教チーム)  
 主催 名古屋教区一粒会

**カトリック信徒の**  
**分かち合いチャンネル**  
 ~「御言葉の分かち合い」の  
 小教区での実践をめざして~  
 「今日の私」に語りかける主の御言葉を聞きその分かち合いをすることは、信徒同士の信仰を深め、育てあう力になります。その一例として、ぜひご視聴ください!  


**聖マリアの無原罪教育宣教修道会**  
**「青年のための聖書の学び」案内**  
 毎月マルコ福音書を1章ずつ読み、分かち合いをします。  
 日時 6月19日(日) 十字架刑 (マルコ15・1~47)  
 7月17日(日) 復活 (マルコ6・1~20)  
 \*諸事情により一週間ずれることがあります。参加希望者は日時をご確認ください。  
 場所 聖マリアの無原罪教育宣教修道会岐阜修道院・聖マリア女学院 (マドンナホール)  
 〒501-2565 岐阜市福富201  
 係り シスター 礎 (いかり)  
 ☎058-229-3985 (修道院)  
 ☎080-1560-7429 (礎・携帯)  
 080-1560-7429@docomo.ne.jp  
 交通 JR岐阜駅から市バス12番乗場、三田洞バス停下車 (28分乗車)。乗車時にTELを下さい。バス停で待っています。自動車でお来られる方は聖マリア女学院でナビ設定のこと。

**名古屋教区100周年を迎えて**  
**信徒使徒職大会**  
 テーマ「信仰の伝達」~私が最期に伝えたいこと~  
 日時 6月18日(土) 13:00~16:00  
 場所 布池教会地下ホール  
 内容 松浦司教講話  
 分かち合い  
 活動・会計報告等  
 主催 教区信徒使徒職協議会

**聖霊奉侍布教修道女会(聖霊会)から**  
**ラビリンスメディテーションへのお誘い**  
 6月の予定 6月25日(土) 7月の予定 7月23日(土)  
 時間 各13:30~16:30  
 場所 聖霊ミッションセンター (旧八事聖霊幼稚園)  
 〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町1  
 参加費 200円  
 交通 地下鉄名城線八事日赤病院1番出口を出て右方向へ、すぐの角を右折、次の角も右折。信号を左折し門へ徒歩5分。  
 問合せ 聖霊修道院 ☎052-832-0434

このように心がけることで、自分のことを自分できちんと言えるようになってきた、と実際に変わってきた子どもの様子を紹介しながら話してくれた。  
 この先のこととして、子どもたちが施設を出てからもいつでも帰ってこられる場所、「お帰り!」と言ってあげられる場所を作りたいと考えている。職業訓練所やカフェも作りたいと、佐藤さんの夢は広がる。養護施設に措置される原因は圧倒的に虐待、育児放棄が多く、親の離婚、再婚による家庭の複雑さが養育の問題を多くしている。コロナ禍が抱える家庭の問題は、更にそのような子どもを増やし、施設は満杯の状態である。

**ピースあいち企画展**  
**沖縄戦と日本復帰50年**  
 2022年は沖縄県が、戦後あらためて日本国に組み入れられた1972年5月15日から50年という節目となる年。ぜひご来館頂きご覧ください。  
 期間 5月10日(火)~7月2日(土) 休館日 日曜日、月曜日  
 時間 11:00~16:00  
 入館料 大人300円、小中高生100円  
 会場 戦争と平和の資料館ピースあいち  
 名古屋市東区よもぎ台2-820 電話&Fax 052-602-4222  
 3階展示場、2階プチギャラリー  
 場所 地下鉄東山線「一社」①出口から北へ徒歩12分。  
 駐車場2台 (有料300円) 障がいしゃ用無料1台。